

平成6年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1. 「ルミナス神戸2」 「船の科学」1994 - 6 (Vol.47, No.6) より採取。

・国内最大 新造レストラン・シップ「ルミナス神戸2」、総トン数 4,408T 旅客(平水 1.5 時間以内)1,000名、運転要員 13名、サービス員 87名、航海速力 18.0 kn、操船性の向上を図るため パウスラスト、ベクツイン舵を装備。

・船主：船舶整備公団、豊野産業(株) ・建造：三菱重工業(株)神戸造船所 平成6年1月31日 竣工
・1)は本船全景、2)は操舵室。

1) W69 - 01 ルミナス神戸2 本船全景



2) W69 - 02 ルミナス神戸2 操舵室



2. 「KIBI」 「船の科学」1994 - 8 (Vol.47, No.8) より採取。

・450T ヘビーマスト クレーン搭載 重量物運搬船「KIBI」、DWT 9,433t, 速力(満載航海) 13.5 kn
本船は一般貨物のほか各種プラント等の大型長尺重量物、鋼材、鋼管、ホットコイル、鉾石、コンテナ等を運搬する多目的の重量物運搬船である。

・船主：Shiba Shipping S.A. 社(Panama) 日之出汽船(株)
・建造：三菱重工業(株)下関造船所 平成6年3月10日 竣工
・3)は本船全景、4)は操舵室。

3) W69 - 03 KIBI 本船全景



4) W69 - 04 KIBI 操舵室



3. 「関空エクスプレス」 「船の科学」1994 - 11 (Vol.47, No.11) より採取。

・698 総トン型高速貨物 RO/RO 船「関西エクスプレス」、関西国際空港~六甲アイランド間航走。DWT 455 トン
ハイブリッド双船尾型船型、トラック積載台数 11台、主機馬力(常用)1,785 PS×2、航海速力 18.5 kn
出入港、離着岸時の操船性向上のため、2軸2舵、CPP、パウスラストを採用、港内での操船はジョイスティック
操舵によるワンマン・ブリッジ方式を採用、機関制御室を操舵室に設け主機、CPP、発電機などの制御、監視を可能とした。乗組員 8名、乗客 12名。

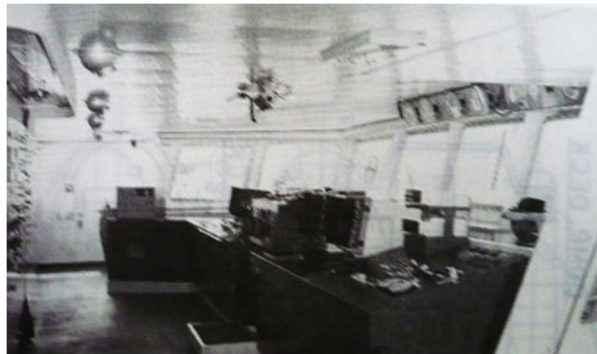
・船主：関西カーゴアクセス(株) 船舶整備公団 ・建造：(株)白杵造船所 平成6年7月14日 竣工

・ 5) は本船全景、 6) は操舵室。

5) W69 - 05 関空エクスプレス 本船全景



6) W69 - 06 関空エクスプレス 操舵室



4 . 「鳥羽丸」 「船の科学」 1994 - 12 (Vol.47, No.12) より採取。

・ 鳥羽商船高等専門学校 練習船「鳥羽丸」、総トン数 244 トン、定員 (近海区域) 乗組員 9 名、教官、学生 47 名 計 56 名、(沿海区域) 乗組員 9 名、その他 87 名 計 96 名。

最新の自動化機器、研究実験設備 (衛星画像受画解析装置、映像処理装置など) を備えているが詳細は略、船内情報 (航海、機関、操船、海洋気象など) は船内 LAN により、船橋、機関制御室、教室でグラフィック・データとして見る事ができる。

・ 船主 : 鳥羽商船高等専門学校

・ 建造 : 三井造船 (株) 玉野事業所
平成 6 年 8 月 19 日 竣工

・ 7) は本船全景、 8) は操舵室。

7) W69 - 07 鳥羽丸 本船全景



8) W69 - 08 鳥羽丸 操舵室



10) W69 - 10 鳥羽丸 映像データ処理用機器



9) W69 - 09 鳥羽丸 データ処理システム機器類



11) W69 - 11 鳥羽丸 衛星画像受画解析システム



12) W69 - 12 鳥羽丸 機関制御室



- ・ 9) はデータ処理システム機器類、 10) は映像データ処理用機器、 11) は衛星画像受画解析システムで、最新の特殊な機器が多数装備されている。 12) は機関制御室。

5 . 「LNG VESTA」 「船の科学」 1995 - 1 (Vol.48, No.1) より採取。

- ・ 新世代型 125,000 m³ 積み LNG 運搬船「LNG VESTA」 DWT 68,522 t、主機関 蒸気タービン×1 32,000PS × 85 rpm、航海速度 19.3 kn、球形タンク方式を採用、タンク数は4、貨物制御室には CTS (Custody Transfer System) カーゴ・モニタリング・システム、パラスト・コンソールが装備されている。無線装置には GMDSS(Global Maritime Distress and Safety System) を採用。
- ・ 船主 : 東京エルエヌジー・タンカー (株) 他 4社
- ・ 建造 : 三菱重工業 (株) 長崎造船所 平成6年6月30日 竣工
- ・ 13) は本船全景、 14) は操舵室、 15) は貨物制御室、 16) は機関制御室。なお貨物制御室は操舵室直下の居住区内に、機関制御室は 2nd Deck 上に設けられている。

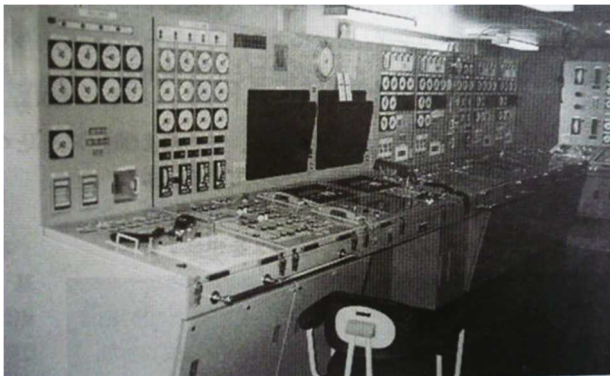
13) W69 - 13 LNG VESTA 本船全景



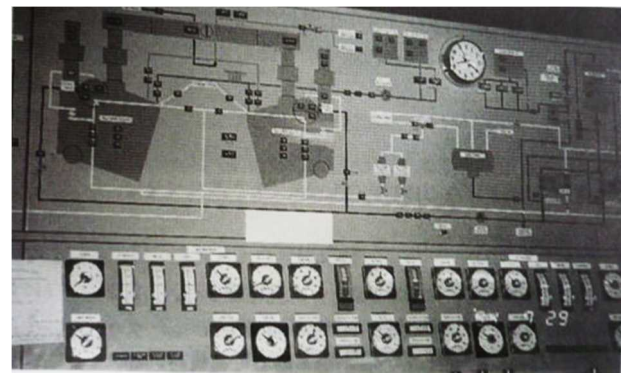
14) W69 - 14 LNG VESTA 操舵室



15) W69 - 15 LNG VESTA 貨物制御室



16) W69 - 16 LNG VESTA 機関制御室



6 . 「AL KHAZNAH」(アル ハズナ) 「船の科学」 1995 - 1 (Vol.48, No.1) より採取。

- ・ 135,000 m³ 積み LNG 運搬船「AL KHAZNAH (4隻シリーズの第1船) DWT 71,543 t 航路は日本 ~ ペルシャ湾、球形タンク×5、主機は蒸気タービン×1 常用 25,830 kW、航海速度 19.65 kn 荷役制御室は操舵室の下に設けられ、カーゴ・コンソール、パラスト・コンソール、CTSなどが装備されている。カーゴ・コンソールには監視警報用として20" CRT、マニホールド監視用のCRTが設けられている。DnVのW1-OC資格(One man bridge)を取得。
- ・ 船主 : Al Khaznah Inc.(Liberia)
- ・ 建造 : 三井造船 (株) 千葉造船工場 平成6年7月29日 竣工

17) W69 - 17 AL KHAZNAH 本船全景

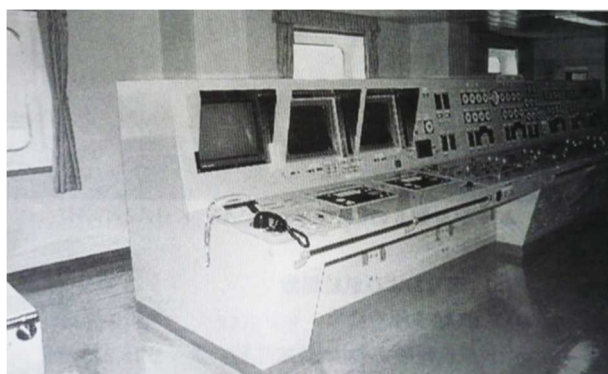


・ 17) は本船全景、18) は操舵室、19) はカーゴ コンソール。

18) W69 - 18 ALKHAZNAH 操舵室



19) W69 - 19 ALKHAZNAH カーゴ コンソール



7. 「鶴洋丸」 「船の科学」1995 - 2 (Vol.48, No.2) より採取。

- ・ 近代化内航クリーン・タンカー「鶴洋丸」、DWT 4,953 t、航海速度 14.0 kn
航海操船総合援助装置 (INS Integrated Navigation System) 装備、荷役自動化システム 装備。
- ・ 船主 : 鶴見運輸 (株) ・ 建造 : (株) 新来島どっく 波止浜工場 平成6年10月25日 竣工
- ・ 20) は本船全景、21) は荷役制御パネル、22) は船橋操舵室、23) は船橋主機操縦台。

20) W69 - 20 鶴洋丸 本船全景



21) W69 - 21 鶴洋丸 荷役制御パネル



22) W69 - 22 鶴洋丸 船橋操舵室



23) W69 - 23 鶴洋丸 船橋主機操縦台



8. 「NEW OJI PIONEER」 「船の科学」1995 - 3 (Vol.48, No.3) より採取。

- ・ 350万 (CFT) (Cubic Feet) 型チップ運搬船「NEW OJI PIONEER」、DWT 46,832 トン、航海速度 ab 14.3kn
省エネ対策としては 主機関 超ロング・ストローク ディーゼル (9,180 PS (114.6 rpm)) を採用、プロペラは低回転・大直径のものを採用、PBCF (プロペラ・ボス・キャップフィン) を装備など。
省メンテナンス対策としては タールエポキシ系の塗料による防食塗装を実施。

- ・船主 : Cygnet Bulk Carriers S.A.(Panama)
- ・建造 :(株)サノヤス・ヒシノ明昌 水島製作所 平成6年11月30日 竣工
- ・24)は本船全景、25)は操舵室、26)は機関制御室、27)は荷役制御室。

24)W69-24 NEW OJI PIONEER 本船全景



25)W69-25 NEW OJI PIONEER 操舵室



26)W69-26 NEW OJI PIONEER 機関制御室



27)W69-27 NEW OJI PIONEER 荷役事務室



9.「はやぶさ」 「船の科学」1995-3 (Vol.48, No.3)より採取。

- ・川崎ジェット・ピアサー第1船「はやぶさ」、日本初、世界でも最大の耐食アルミ合金製で、波浪貫通型高速双胴カーフェリー、高速カーフェリーとして 八幡浜～臼杵間に就航。総トン数 2,282 トン、最高速度 35.5 kn、航海速度 30.0 kn、車輦搭載数 12tトラック 24台または 8tトラック 32台または乗用車 94台。旅客定員 460名、乗組員 18名、主機関 高速ディーゼル機関 4基、連続最大出力 計25,780PS、ウォータージェット推進器 4基、波浪航行中の横揺れを軽減するためRCS (Ride Control System) を装備している。
- ・船主 : 船舶整備公団、(株)九四フェリーポート
- ・建造 : 川崎重工業(株)神戸工場 平成6年12月15日 竣工
- ・28)は本船全景、29)は操舵室、なお主機関、ウォータージェット推進器および主要補機の集中制御、監視は操舵室にて可能となっている。なお本船は Ship of the year '94 に選ばれた。

28)W69-28 はやぶさ 本船全景



29)W69-29 はやぶさ 操舵室



(メモ)

- 1) この年の目新しい船としては国内最大のレストラン シップ「ルミナス神戸2」、関西国際空港～六甲アイランド間を航走する698総トン型高速貨物 RO/RO 船「関西エクスプレス」、鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」、新世代型の LNG 運搬船「LNG VESTA」、「AL KHAZNAH」、波浪貫通型高速双胴カーフェリー「はやぶさ」などが挙げられる。
- 2) 練習船「鳥羽丸」には コンピュータ化された自動化機器、研究実験設備などが多数装備されている。衛星画像受画解析装置や映像処理装置など最新の機器が装備されているが、内容はよく分からない。画像処理という新しい分野がこのころから入ってきたと云うことで、今後の船舶への応用が注目される。
- 3) 操船性の向上対策も引き続き施行されている。従来の CPP、スラスト、ジョイスティック操縦などのほか、ベクツイン・ラダーなどが採用されている。